

令和5年9月20日14時00分  
近畿地方整備局

## インフラ分野のDXに活用できる優れた民間技術の発掘

～ 令和5年11月1日「建設技術展2023近畿」の会場で「インフラDXコンペ」を開催します～

近畿地方整備局ではインフラDXに活用できる優れた技術の発掘を目的に「インフラDXコンペ」を開催します。

「建設技術展2023近畿」の会場で、応募があった技術開発者9者がインフラDX技術を紹介します。

### ○インフラDXコンペについて(別添1 概要)

開催日時 令和5年11月1日(水) 14時00分～

開催場所 建設技術展2023近畿(インテックス大阪6号館Cゾーン 小ホール)

※ コンペでは、3分程度の動画を含めたプレゼンテーションの結果、河川部門及び道路部門で1技術を優秀技術として選定致します。

なお、優秀技術は近畿地方整備局が実施している河川及び道路事業の提供フィールドにて現場試行を行うことを予定しています。

### ○コンペ発表技術について

技術テーマ 河川又は道路の調査・計画・設計・工事及び維持管理における「生産性向上」「安全性向上」「働き方改革」などインフラ分野のDXに資する先進的な技術

発表技術 9技術(別添2 発表技術一覧)

### 【建設技術展2023近畿】

(ホームページ) <https://www.kyokai-kinki.or.jp/kengi2023/top.html>

〈取扱い〉

〈配布場所〉 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

〈問合せ先〉

国土交通省近畿地方整備局

TEL: 06-6942-1141 (代表) 06-6920-6023 (直通) FAX: 06-6942-4439

企画部 施工企画課 課長 武本 昌仁(たけもと まさひと)

建設専門官 能登 真澄(のと まさみ)

## インフラ DX コンペ(2023 年度) 概要

開催日時 令和5年11月1日(水)14時00分～

開催場所 建設技術展 2023 近畿(インテックス大阪6号館 小ホール)

### ◆発表技術

河川又は道路の調査・計画・設計・工事及び維持管理における「生産性向上」「安全性向上」「働き方改革」などインフラ分野の DX に資する先進的な技術で、応募があった9技術(別添2 発表技術一覧)。

### ◆表彰

開催場所において、技術開発者がプレゼンテーションを行い、学識経験者委員及び整備局委員で構成された審査委員会が審査を行い、河川、道路の各部門で優秀技術を1技術選定し、表彰します。

#### (審査の観点)

- ①「革新性・独創性」、②「実現可能性」、③「経済効果」、④「工程的時間短縮効果」、  
 ⑤「品質出来形向上効果」、⑥「施工における改善効果」、⑦「波及効果」、  
 ⑧「安全性・環境性その他特筆すべき事項」

### ◆優秀技術受賞者へのインセンティブ

整備局が実施する河川及び道路事業において、技術を試行するフィールドを提供する等、NETIS 登録に向けた支援を行います。

### <インフラ DX コンペ(2022 年度) 開催状況>



会場の様子



発表の様子



表彰の様子

# <インフラDXコンペ(2023年度)>

別添 2

開催日時 令和5年11月1日（水）14時00分～

開催場所 建設技術展2023近畿（インテックス大阪6号館 小ホール）

## ◆ 発表技術一覧

発表順	発表者	技術の名称	副題
①	鹿島建設(株)	遠隔操作システムを用いた重機オペレータのテレワークシステム	K-DIVE遠隔操作システムと稼働データを用いた現場改善ソリューション
②	(株)ソーキ	上部工ワンマン測量システム	オートレポ
③	飛島建設(株)	コンクリート中鉄筋の腐食状態を非破壊で測定する『Dr.CORR』	鉄筋と測定機を接続せずに構造物中の鉄筋のインピーダンスが測定可能
④	ニチレキ(株)	スマートスタビライザシステム（路上路盤再生工）	情報通信技術（ICT）を活用した、高効率・高精度な施工管理
⑤	富士通(株)	AIを活用した柵門遠隔監視システム	AI人物検知による柵門監視制御時の安全性向上
⑥	清水建設(株)	地中連続壁のリアルタイム施工管理システム	掘削形状を即座に3次元で可視化
⑦	(株)大林組	画像によるコンクリートスランプ管理システム	生コン車のコンクリート荷卸し画像からAIによりコンクリートのスランプを全量監視
⑧	(株)アース・アライザー	シングルビーム式測深ボートと高精度ドローンによる河川計測技術	3Dデータの一元化と精度向上
⑨	奥村組土木興業(株)	レーザートラッカーによるAs舗装の3次元出来形計測技術	As舗装の出来形管理の効率化

※発表技術順数字、⑤⑧は【河川部門】、②④⑨は【道路部門】、①③⑥⑦は【河川・道路両部門】で適用可能な技術